

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 紀美野町

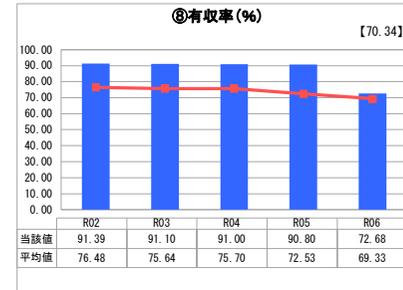
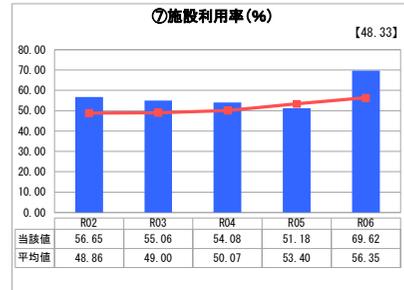
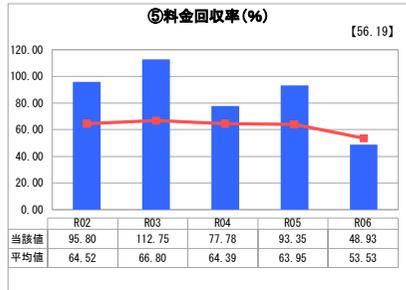
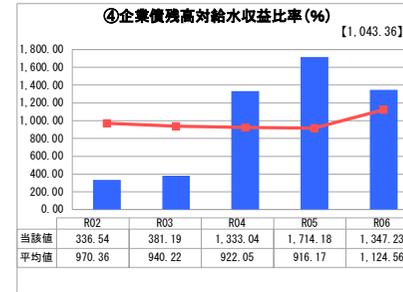
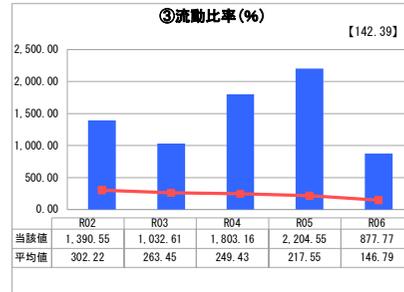
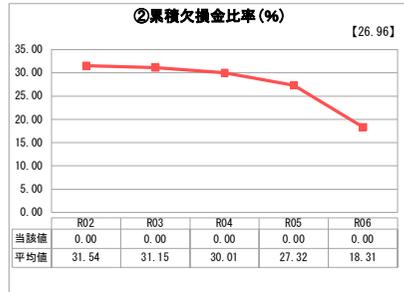
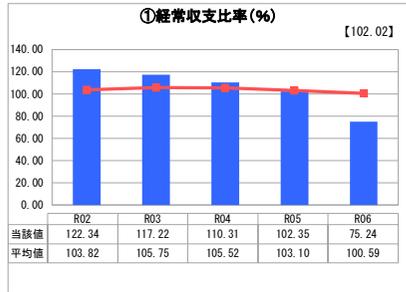
業種名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	47.03	97.94	3,278	

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,711	128.34	60.08
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,480	35.34	211.66

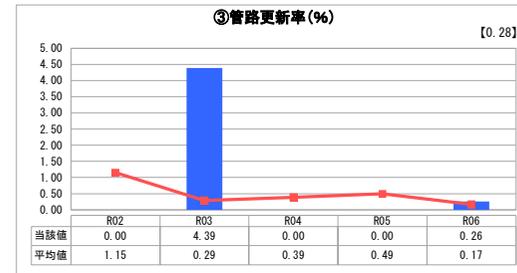
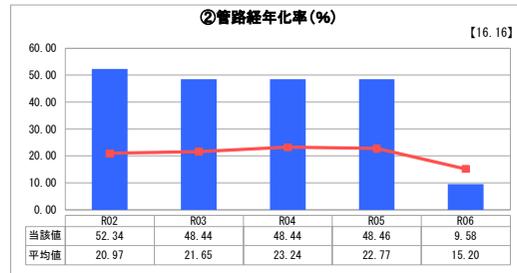
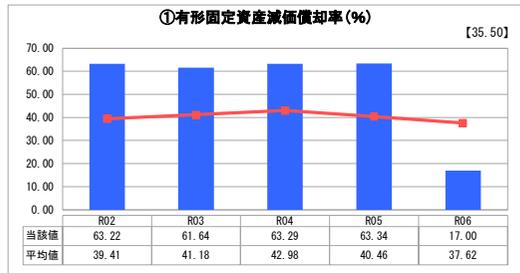
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、東部簡水との合算となったため、減価償却費の大幅な増大により大きく減少した。

累積欠損比率は、営業収益（経常収益）が減少傾向であるものの0%を維持している。

流動比率は、現金及び預金の増加に比べて企業債の増加の方が大きくなり、昨年度2,204.55に対し1,326.78ポイント減少した。

企業債残高対給水収益比率は、昨年度に続き西部簡水で浄水場更新事業に伴う企業債借入を行ったため、昨年度1,714.18に比べ366.95ポイント減少している。

料金回収率については、東部簡水との合算となったため必要な費用を給水収益でまかなえず、他会計補助金を繰入しているため大きく減少した。

給水原価は、東部簡水との合算となったことで管路延長が長くなり、年間総有収水量に対し経常費用が大幅に増加したため、前年度より182.78ポイント上がっている。

施設利用率は、東部簡水との合算となったことで昨年度より18.44ポイント増加した。

有収率は、東部簡水との合算となったことで、昨年度より大幅に減少した。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価却率は、今年度より法適用した東部簡水との合算となったため、有形固定資産が大幅に増加し、減価却率が大幅に減少した。管路経年率は、昨年度の48.46%より38.88ポイント減少している。東部簡水との合算となったことにより、給水区域における総管路延長が約231kmになり、管路更新率が0.26%という現状を踏まえ、計画的に老朽管の布設替えを行っている。

### 全体総括

今年度より、西部簡易水道事業会計と東部簡易水道事業会計との合算報告となり、経常収支比率が75%程度と赤字となっている。固定資産数が多いことによる減価償却費の増加で今後も苦しい経営が続く。料金回収率は48.93%と給水人口の減少に伴う給水収益の減少と、経常費用の増加により100%を大きく下回っている。

今後は老朽化が進む施設及び管路の更新に伴う費用の増加を踏まえ、改定した経営戦略を元に長期的な運営計画、健全な経営を目指していく。